

フェンプロパトリン水和剤 ロディー水和剤	取扱メーカー： 北興、住友化学 原体メーカー： 住友化学
成分： フェンプロパトリン〔ピレスロイド系 PRTR・1種〕…10.0%	性状： 類白色水和性粉末45μm以下 毒性： 劇物 消防法： —

【品目特性】

- 極めて広い殺虫スペクトラムを有し、アザミウマ目、チョウ目、カメムシ目やハエ目など主要害虫に対して卓効を示す。
- 接触作用により強い殺虫力を示し、薬液が害虫にかかるとその反応は速く、いわゆるノックダウン効果がみられる。
- 優れた残効性を示すので、発生期間の長い害虫に対しても高い防除効果が得られる。
- 特異な忌避作用があるので（摂食阻害、産卵抑制など）、作物を害虫から守る。
- ハダニに対して密度を抑える効果があり、ハダニのリサージェンスの起こりにくいピレスロイド剤であるため、基幹の体系防除に組み込むのに適している。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 優れた残効性と特異な忌避作用があるので害虫発生初期の防除がより効果的である。
- ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、連用はさけ、作用性の異なる他の殺ダニ剤と輪番で使用する。本剤の年間使用回数も少なくするように努める。

【薬効・薬害等の注意】

- ボルドー液と混用する場合は、使用直前に行う。
- なしのハダニ類及びりんごのナミハダニに対する残効は、短い傾向があるので留意する。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】

- のど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、カユミを生じる場合があるので注意する。
- 摘果等の作業の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	フェンプロパトリンを 含む農薬の総使用回数
かんきつ	アブラムシ類 ミノガ類	1000～ 2000倍	200～ 700 ℓ	7日前 まで	4回以内	散布	9回以内 (噴射は5回 以内，散布及 びくん煙は合 計4回以内)
	チャノキイロアザミウマ	2000倍					
	ハスモンヨトウ	1000倍					
りんご	シンクイムシ類 キンモンホソガ アブラムシ類 ハマキムシ類 カメムシ類	1000～ 1500倍		前日まで	2回以内		7回以内 (噴射は5回 以内，散布は 2回以内)
	ナミハダニ リンゴハダニ ギンモンハモグリガ	1000倍					
	なし	アブラムシ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類					1000～ 1500倍
カメムシ類 ハダニ類		1000倍					
もも	モモハモグリガ	1000～ 2000倍					5回以内
	アブラムシ類 シンクイムシ類	1000倍					
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	2000倍		21日前 まで	2回以内		7回以内 (噴射は5回 以内，散布は 2回以内)
かき	カキノヘタムシガ チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類 ハマキムシ類	1500倍		7日前 まで	3回以内		8回以内 (噴射は5回 以内，散布は 3回以内)
おうとう	ケムシ類	2000倍		前日まで	2回以内		7回以内 (噴射は5回 以内，散布は 2回以内)
うめ				7日前 まで	3回以内		8回以内 (噴射は5回 以内，散布は 3回以内)
びわ	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍		前日まで	4回以内		9回以内 (噴射は5回 以内，散布及 びくん煙は合 計4回以内)